

◎人間性豊かな児童を育成する ○開かれた学校
●学校の考え・様子を積極的に伝える ⇒ HP,学校だよりの活用
●地域とのつながりを重視する ⇒ 行事における連携
●保護者参加の行事を大切にする ⇒ 授業参観、保護者会の実施

①成果

- ・地域の方の学校運営参画意識が90%に達し、「地域と共にある学校」への理解が飛躍的に高まりました。皆様のご協力に深く感謝いたします。
- ・地域行事やお祭りに進んで参加する児童が昨年度より増えています(47%)。ご家庭で地域行事に関心を深め、子ども達と共に参加する機会が増えることを期待します。
- ・学校は、HPや便りを通じて積極的に情報発信(66%)に努め、教職員の指導力向上に努める意識(71%)も高まっており、組織としての教育力が高まっています。
- ・CSを活用した地域・児童の関わりを肯定する教職員が57%に達し、新しい学校づくりの土台が固まりつつあります。
- ・学校からの発信(HP・お便り)を積極的に見ている児童が増えており、学校と児童の情報共有が進んでいます。
- ・授業参観や保護者会に対する教職員の意識が高まり、より良い公開への意欲が向上しています。

・「子どもの生活への声かけ」や「地域行事への参加」において、教職員と保護者の認識に差が見られます。座間市教育委員会から出されている「豊かな心を育むひまわりプラン」の認識を高め、その意義をより実感できるよう、発信については市教委を含め検討が必要だと感じます。

・保護者が「地域で子どもを育てている」という意識の高まりについては課題が見られます。地域行事への親子参加を促すような働きかけが増えることを期待します。

2 健康安全部 ☆あいさつをしよう☆							
◎健康や安全に気をつけ、きまりを守る子 ○健康・安全 ●健康的な生活を送れるようにする ⇒保健だより・給食だより・保健教育の実施。学校保健委員会の実施。清掃指導の充実。基本的な生活 習慣の確立をめざす。 ●安全への意識を高め、自ら身を守ることができるようにする ⇒安全指導の充実。登校班長会議の活用。							
評価対象		項目 ※()の数値はR6年度の物です。	そう思う	ややそう 思う	ややそう 思わない	思わない	分らない
児童	3	びょうきやけが、さいがいやじこから みをまろうと ふだんから きをつけていますか？	68% (56%)	24% (31%)	4% (6%)	1% (3%)	3% (5%)
	4	じぶんのみのまわりをきれいにするように そうじをしたり せいりせいとんをしたりしていますか？	42%	38%	9%	6%	5%
	5	はやね はやおき あさごはんが できていますか？	47% (40%)	29% (37%)	13% (14%)	7% (7%)	4% (2%)
教職員	7	児童の健康管理を適切に行っている	86% (82%)	14% (18%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)
	8	自ら健康な生活を実践しようとする児童を育てている(感染症予防含む)	56% (44%)	44% (50%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (6%)
	9	清掃活動に積極的に取り組む指導を行っている	66% (49%)	28% (42%)	3% (3%)	0% (0%)	3% (6%)
	10	避難訓練や登下校指導等の活動を通し、児童の安全を図っている	80% (85%)	17% (9%)	0% (0%)	0% (0%)	3% (6%)
	11	基本的な生活習慣を身につけさせるための指導を行っている	73% (77%)	21% (18%)	0% (3%)	0% (0%)	6% (3%)
保護者	5	普段の授業・保健指導・地区別安全指導等で、お子さんは健康、安全に対する意識を高めている。	26%	62%	7%	1%	4%
	6	お子さんは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が できている。	42% (44%)	40% (38%)	14% (14%)	4% (4%)	0% (0%)
地域 (コミュニティ・ スクール関係 の方々)	5	子ども達に 登下校時の交通安全や、不審者対応等に関 する危機意識が育ってきている。	40% (0%)	40% (75%)	10% (0%)	0% (25%)	10% (0%)

①成果
安全意識の向上（児童68％）：「自分の身を守る意識」が着実に育っています。地域の皆様の登下校時の見守りが、子どもたちの危機管理能力を育む大きな支えとなっています。
主体的な環境づくり（教職員66％）：清掃指導への注力により、子どもたちが自分たちの生活環境を清潔に保とうとする姿勢が芽生え始めています。
健康への意識と安全配慮（教職員86％～94％）：基本的な生活習慣や健康管理に関する指導意識が非常に高く、校内での安全配慮は昨年度に引き続き高い水準を維持しています。
地域との絆（評価40％）：地域の方々から子どもたちの安全意識への高い評価をいただきました。皆様の温かい眼差しに、改めて深く御礼申し上げます。

② 課題 健やかな成長のための「今後に向けた取り組み」		
子どもたちがさらに充実した学校生活を送れるよう、以下の点について学校と家庭で共通理解の上取り組みたい提案です。		
重点項目	学校からのアプローチ	ご家庭へ共有したいこと
整理整頓の習慣化	「安全・整理点検デー」を新設します。防犯ブザー点検と併せて、身の回りの整理を行うことで、「整った環境が安全を守る」意識を育てます。	お家でも「使ったものを元の場所へ」という小さな習慣を、ぜひお子様と一緒に見守っていただければ幸いです。
生活リズムの安定	「早寝早起き」と「朝食」の項目を分けて詳しく把握し、無理のない改善策を提案します。保健・給食だより等で具体的なヒントを発信し続けます。	朝食は「まず一口」からで十分です。バナナやゼリーなど、手軽にエネルギー補給ができる準備をしておくだけでも、脳と体は目覚めやすくなります。
情報の共有	大切なお知らせが確実にお手元へ届くよう、「紙ベース」と「デジタル配信」の両輪で丁寧に発信してまいります。	ご家族で生活習慣についてふと話題にする際、配布資料をコミュニケーションのきっかけとしてご活用ください。

◎めあてを持ち、ねばり強く学ぶ子 ○学習指導の充実

- 基礎・基本の充実を図る⇒ 反復学習・復習の充実と朝学習の活用
- 楽しくわかりやすい授業に努める⇒ 教材研究の充実
- 体力の向上を図る ⇒ 体力向上のイベントの企画と運営

①成果

- ・授業での教育機器（ICT）活用（78%）が浸透し、子どもたちの興味・関心を引き出す多様な授業実践が行われていることが結果に表れています。
- ・学年で評価規準を設定し、次の指導へ生かす取組が66%に向上しています。PDCAサイクルに基づいた指導体制が整ってきています。
- ・児童の体力向上に努める教職員が71%に達し、運動を楽しみ、子ども達の体力を高める雰囲気広がっています。2年目を迎えた体育委員会の「ASAHIステージ」の取組も大きな効果をあげています。
- ・施設の点検・管理に協力して取り組む職員が76%と大幅に増えました。全校で事故防止・教育環境を守る意識が高まっています。
- ・児童の約8割が「自分の思いを伝えることは楽しい」と感じており、表現することへの意欲が育っています。校内研究「学ぶ喜びにあふれた子をめざして」をテーマに2年間取り組んだ成果が表れています。

②課題と今後の方策

- ・「粘り強く学ぶ子」の姿について、教職員と保護者の間で認識の差が見られます。子ども達は学校で大変粘り強く学習に取り組んでいますが、ご家庭の様子とは違っているようです。

保護者の皆さんと情報を密にし、子ども達の多面的な部分について理解を深め対応していきたいです。

- ・引き続き、個人面談や懇談会等で「学校での頑張り」を積極的に家庭へ伝えていきます。

4 児童指導・教育相談部 ☆ひとの身になって考えよう☆

- ◎思いやりをもち、協力して活動する子 ○豊かな心の育成
●児童会活動を充実させる ⇒ 委員会活動・クラブ活動・旭小の三つの合言葉の具体的な取り組み
●共通理解を図り全職員で取り組む児童指導⇒ＱＵの活用・生活アンケートの活用・学年学級実態報告会
●児童一人ひとりの良さを認め合わせる ⇒個に応じた指導を行う
●教育相談の充実 ⇒ SCや保護者相談日の設置

評価対象		項目 ※()の数値はR6年度の物です。	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童	9	学校は楽しいですか？	73%	17%	6%	2%	2%
	10	人のきもちになってかんがえるように 心がけていますか？	59% (48%)	33% (38%)	2% (8%)	1% (2%)	5% (4%)
	11	学校生活で 友だちときょうりょくして とりくんでいますか？	68% (56%)	25% (32%)	2% (7%)	2% (2%)	3% (4%)
	12	こまった時に、そうだんできる人はいますか？(スクールカウンセラーさんや先生、かぞく、ともだちも入ります。)	72% (71%)	19% (19%)	5% (3%)	1% (3%)	3% (4%)
教職員	19	委員会活動、学級活動など、児童が活発に活動できるようにしている	69% (55%)	28% (39%)	0% (0%)	0% (0%)	3% (6%)
	20	豊かな心の育成に取り組んでいる	66% (62%)	31% (29%)	0% (3%)	0% (0%)	3% (6%)
	21	保護者と連携し、共通理解を図った指導を行っている	51% (62%)	43% (29%)	0% (0%)	0% (0%)	6% (9%)
	22	児童理解に努め、個に応じた指導を行っている	77% (71%)	20% (20%)	0% (3%)	0% (0%)	3% (6%)
保護者	10	お子さんは、ひとの身になって考えることができるようになってきている。	33% (26%)	54% (59%)	10% (9%)	1% (2%)	2% (4%)
	11	スクールカウンセラーや保護者相談日が設置されていることを知っている。	69% (68%)	23% (23%)	3% (2%)	1% (2%)	5% (6%)
地域 (コミュニティ・スクール関係の方々)	7	子ども達は、生活上のルールやマナー(挨拶を含む)を守り、安心して楽しく学校に通っている。	30% (0%)	50% (75%)	0% (0%)	0% (0%)	20% (25%)

①成果

- ・「人の身になって考える」姿勢が児童・保護者・教職員すべての対象で前年度より向上しました。大変嬉しい結果です。
- ・委員会や学級活動で児童が活発に動けるよう努めているとする教職員が69%に増加しました。学校が子ども達の自主性を重んじ、子ども達主体の活動を推進しているのが結果として表れています。
- ・「学校は楽しい」と答える児童が90%（肯定計）に達しました。異学年交流や学習の選択性などの取り組みの成果が出ています。
- ・SC（スクールカウンセラー）や保護者相談日の活用（周知72%）が進み、個に応じた支援体制が整ってきています。SCが広く校内を見つめ、コーディネーターと連携し相談にあたっていることが数値に表れています。
- ・生活上のルールやマナーを守れていると感じている地域の方が30%（昨年0%）へと上がりました。挨拶運動、コミスクボランティア等で、児童との触れ合いの中で、子ども達の規範意識が高まっているのを感じてくださっていることが嬉しいです。
- ・児童理解に努め、個に応じた指導を行っている教職員が77%に達し、きめ細かな対応を意識していることが分かります。

②課題と今後の方策

- ・挨拶やマナー等のルール遵守については、地域の20%の方が「わからない」と回答されています。子ども達と地域の触れ合いを教育課程内で、これ以上どう増やしていけばいいのか…課題は残ります。
- ・子ども達が困った時に、相談できる人が近くにいるように、誰もが一人で抱え込まないように、朝会や学年朝会等で触れ、相談しやすい環境づくりを更に進めます。